

食べておいしい！ 参加して楽しい！

「たちばなこども食堂」の展開

「たちばなこども食堂」は、食を通じて対話を重ね、世代や立場を超えたコミュニティづくりをめざして取り組んでいます。2年目は、より幅広い年齢層の方に参加してもらうとともに、山科地域で活動している「こども食堂」との連携をより一層図りたいと考え、大学の特色を活かしたイベント型の「たちばなこども食堂」を2回にわたって開催しました。

活動報告

◆たちばなこども食堂 with イオンタウン山科柳辻 2023年9月9日（土）

イオンタウン山科柳辻 2階の特設会場で、学生がオリジナルうちわ作りやわなげ、救急救命講習会（AED体験・胸骨圧迫体験）などの体験イベントを行い、その参加者にこども食堂メニューの購入券を配付しました。その購入券をイオンタウン内の各協力店舗に持っていくと、特別に販売する"こども食堂メニュー"を購入できる仕組みです。当日は、約200名（体験イベント参加者のべ人数）の子どもや保護者の方にご参加いただきました。

参加者からは、「お姉さん、お兄さん達が元気いっぱいなのが良かったです。子どもに積極的に話しかけて、楽しませようとしてくれていたのが伝わってきました。子どもも大人も楽しめました」「大学生と地域の住民が交流できる良い機会だと思う」といったような声がありました。



会場の様子



わなげをする参加者



救急救命講習会で胸骨圧迫体験をする参加者



オリジナルのうちわを作っている様子

◆たちばなこども食堂@京都橘大学 2023年12月10日（日）

京都橘大学で開催しました。会場には、山科青少年活動センターのご協力のもと、山科区内で活動中の「子ども食堂」を紹介するブースを設置し、「やましなの子ども食堂MAP」や近隣で運営している「子ども食堂」のチラシ配布を行いました。このブースは実際に山科区で活動されている「子どもお弁当食堂サンフラワー」の方にご担当いただきました。

当日は、お弁当を1個200円で販売し167食を販売しました。お弁当の販売のほかにも、本学

と京都薬科大学との共同学生団体「ME-ME（ミーム）」によるわたがしブースや、社会福祉法人京都障害者福祉センターが管理運営している「京都市やましな学園」によるアイスクリームの販売ブースも出店され、食後に親子でわたがしやアイスクリームを楽しむ姿が見られました。

また、京焼・清水焼の絵付け体験やオリジナルエコバッグ作り体験など、学生団体による様々な企画が催されたほか、学生団体「げん Kids★応援隊」による「クリスマス企画」も同時開催されました。「クリスマス企画」では、クリスマスカード作りやビンゴ大会などが行われ、参加した地域の子どもたちと学生が一緒になって楽しく交流できるイベントとなりました。

「たちばなこども食堂」に参加した子どもたちの保護者からは、「大学生がたくさんお話ししてくださって、子どもがすごく楽しんでいました」「綺麗な食堂でスタッフさんも親切に対応していただいたので、大変満足しました。次回も定期的開催されることを楽しみに待っています」といった声が聞かれました。



お弁当を食べる参加者



「ME-ME」によるわたがしブース



「げん Kids★応援隊」主催の「クリスマス企画」



オリジナルエコバッグを作っている様子



「やましなの子ども食堂 MAP」発行元：まちのちゃぶ台ネットワーク山科
(京都市ユースサービス協会 HP より※2023年3月時点)

この取り組みは、孤食問題や子育て支援、環境問題、伝統産業の活性化など、様々な社会問題について学生とともに考え学ぶ機会にもなっています。

今後も山科地域で実施されている「子ども食堂」と連携しながらそれぞれの想いを広く伝え、必要な支援が行き届くように、また地域の活性化に貢献できるよう活動を展開していきます。